

# 新しい Office 365 のご紹介

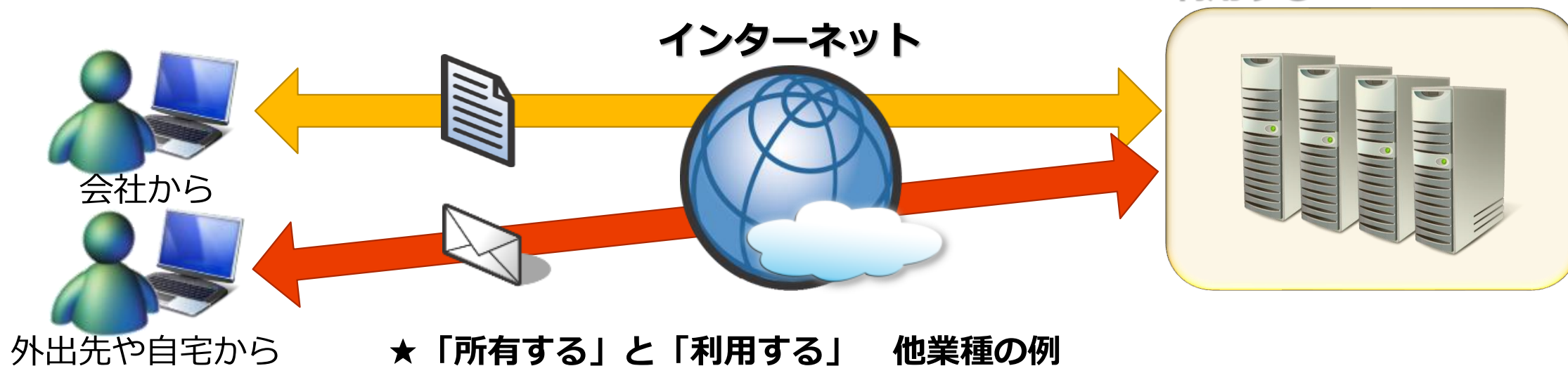
Office が使える革新的なクラウド グループウェア



Office 365

# クラウドコンピューティングとは

インターネットなどのネットワークを介して提供される“サービス”を**利用する**システム形態



## ★「所有する」と「利用する」 他業種の例

業種	所有する	利用する
IT	自社運用	クラウド
住居	分譲戸建て	賃貸マンション
電力	発電機など	電力会社

## メリット

- 信頼性：厳重に管理された大規模なデータセンターを利用可能
- 管理面：日々の管理／運用はプロバイダー側で行ってくれる
- スピード：迅速なシステム構築（立上げ）が可能
- 規模の柔軟性：規模の拡大や縮小が容易で、変化に迅速に対応できる
- 接続性：モバイルアクセスの環境を安易に構築できる

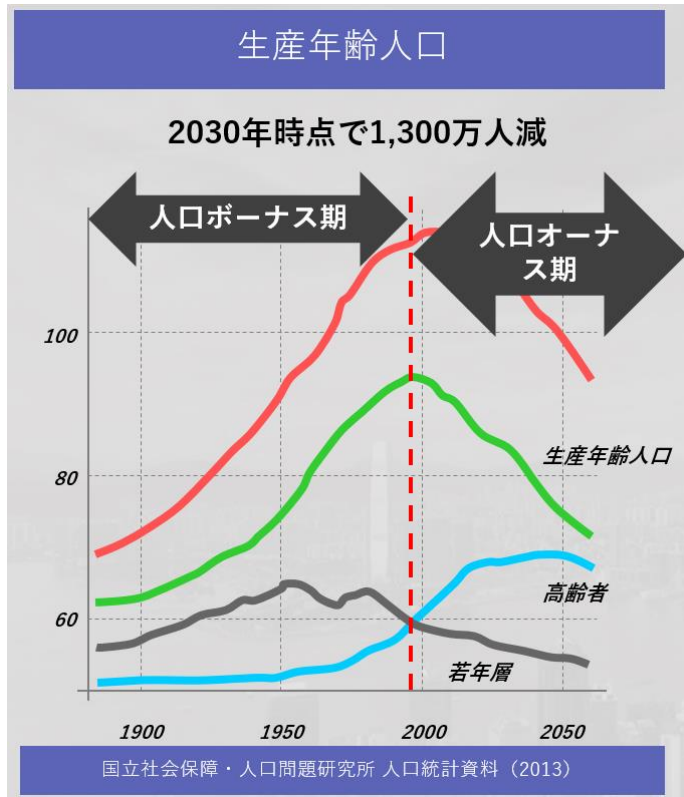
## デメリット

- 柔軟性：自由にカスタマイズできない
- セキュリティポリシーへの配慮が必要
- インフラ整備：バージョンUPへの対応が必要

# 私たち日本が直面している課題

1億総活躍社会『働き方改革』=待ったなしの課題

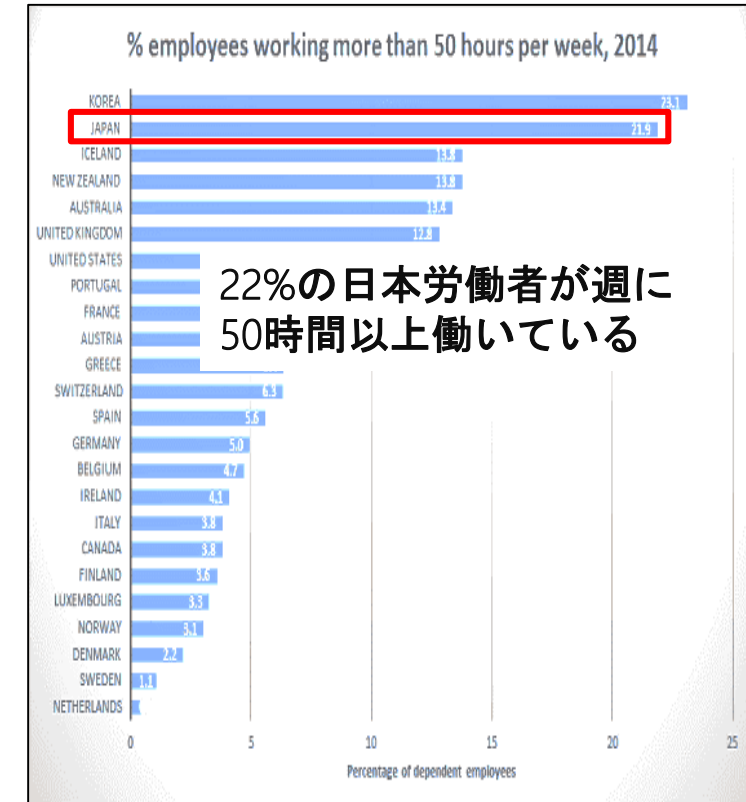
## 1 生産年齢人口の減少



## 2 労働生産性 国際比較



## 3 労働時間 国際比較



■ 高齢者を支える現役就労人口：2.6人 (2010年)

■ 働く意思がありながらも未就業  
出産・育児：100万人  
介護離職：90,000人

- 一人ひとりの生産性を向上させる
- 様々な人たちが社会参画できる

# 「いつでもどこでも」の時代

## ● 社会・企業・人の直面する課題

### 社会的な課題

- ・ 少子高齢化
- ・ グローバル化
- ・ 労働人口の減少

### 企業の課題

- ・ さらなる生産性向上の要請
  - ・ コスト削減の要請
- ・ 多様化する人材の有効活用
  - ・ 災害対策

### 労働者の課題

- ・ 介護、育児による離職
- ・ ワークライフバランス

「いつでもどこでも」が求められる時代

## ● ICTの進化

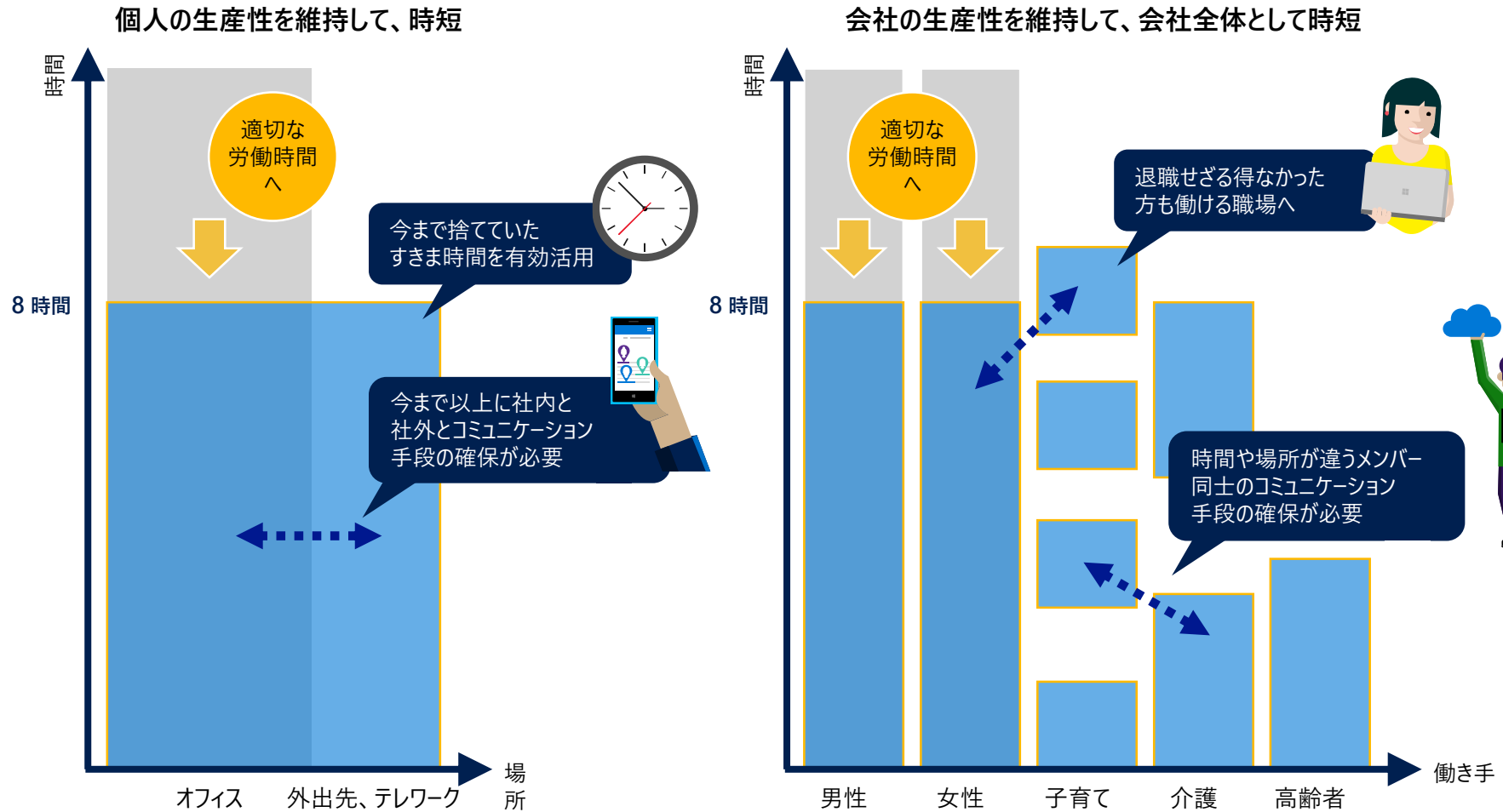
ブロードバンドの普及

モバイルデバイスの進化

データセンターの進化

「いつでもどこでも」が実現可能な時代

# ポイントは「すきまワーク」「どこでもオフィス」



✓ 離れた社員同士のコラボレーション

✓ 働く時間が異なる社員同士のコラボレーション

# Overview

テクノロジー

■ 第三のプラットフォーム

破壊的イノベーション (Disruptive Innovation)



ITの世界では10年~20年ごとにプラットフォームの変化が起こります。第1のプラットフォームはメインフレームと端末、第2のプラットフォームはクライアントサーバーシステムです。そして、今、第3のプラットフォームの時代が始まりました。

<IDC Japan>

## <Market Status>

過去二年間でクラウド時代の「勝ち組」と「負け組」が次第に明確に  
Global IT企業株価の変動率2014年1月~2015年11月



## <マイクロソフトの取り組み>

1986年 大規模データセンターの運用開始

1997年 Hotmailサービス開始

(現在 Outlook.comとして4億人を超えるユーザーを管理)

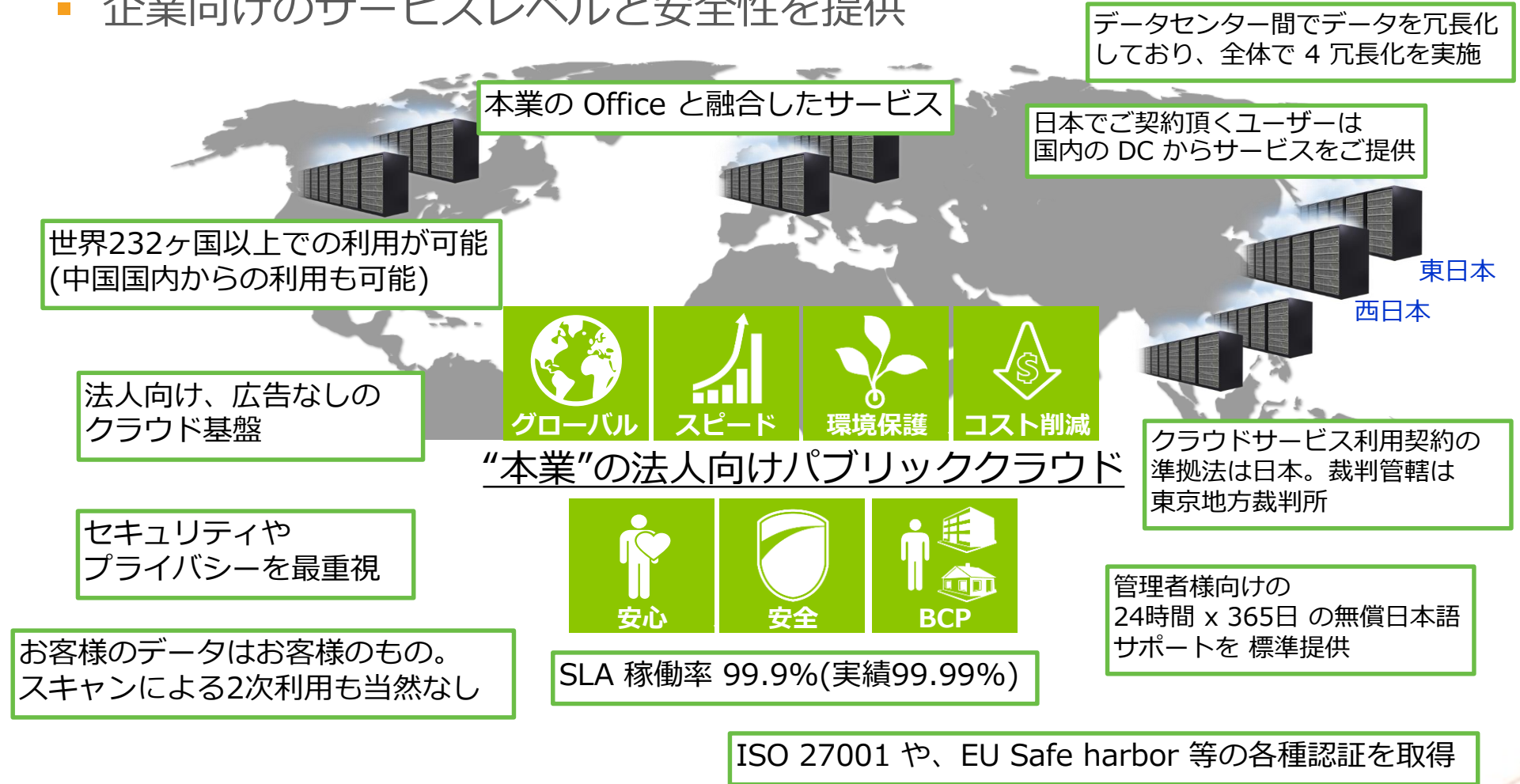
2008年 Microsoft Business Productivity Online Suite (BPOS) 提供開始

2011年 Office 365 提供開始

2014年 日本データセンター稼働 (東日本、西日本)

# 法人向けクラウドサービス Office 365

- Office 365 は法人専用パブリッククラウドサービス
- 企業向けのサービスレベルと安全性を提供



**Office 365 セキュリティ センター**

<http://office.microsoft.com/ja-jp/business/FX103030390.aspx>

# クラウドの拡がり Office 365 事例と導入状況

おかげさまで、世界中でも日本でも、多くのお客様に利用されています。

世界中で数千万ユーザーが利用。日本でも導入実績多数

## 「日経225銘柄」企業のうち約70%が導入

大規模国内事例	ユーザー数
トヨタ自動車	200,000 (ハイブリッド構成)
日本郵船	30,000
ルネサス	22,000
日本航空	20,000

Office もクラウドが  
スタンダードに

エンタープライズの  
過半数が  
Office 365 ProPlus を選択



**三井住友銀行**  
SMBC

Office 365 を採用した狙いは、社内外のコミュニケーションや組織横断のコラボレーションを推進してワークスタイルを変革するため。

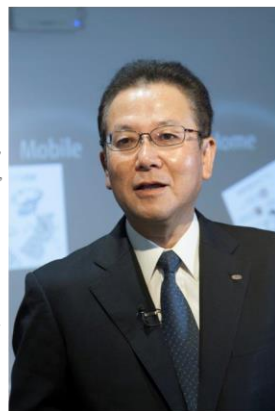
日本企業は現在、経営環境の大きな変化の中にある。ビジネスのグローバル化、人材の多様化、経営を支えるテクノロジーの革新。これらすべてを過渡していき、行き着く先がワークスタイル変革になる。

**富士通株式会社**  
世界最大規模・グループの  
500社・16万人に対して  
Office 365 全面採用

**FUJITSU**

谷崎 勝教 氏  
株式会社三井住友銀行  
取締役 兼 専務執行役員

Microsoft の Office 365 をベースとして、自社実践の成果を反映させた新しいサービスを提供していくことで、日本およびグローバル市場で2018年度に500億円のビジネスを目指しています。電話の位置づけは今以上に重要になると思います。時間や場所を問わず、Office 365 を通じて電話を含めたあらゆるコミュニケーションが可能となる環境を実現していきます。



田中 達也 氏  
富士通株式会社  
代表取締役社長

株式会社三井住友銀行  
世界主要銀行で初の  
Office 365 全面採用

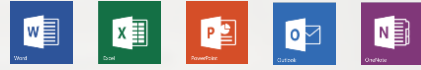
- クラウドが“あたりまえ”の時代
- セキュリティも心配なし





# Office 365とは

# Office 365 概要



## Office 365 Business/ProPlus

**Officeのフル機能**を搭載！ Word, Excel, PowerPoint, OneNote, Outlook, Publisher, Access, (Skype)  
タッチデバイス・タブレットに対応  
クラウドから最新のOfficeをストリーミング配信  
クイック実行によるスムーズなインストール

 Office 365

## SharePoint Online

セキュアに情報共有できる**ファイルサーバー**  
ファイル単位でのアクセス権設定  
Office Onlineにより ブラウザでOfficeを編集可能  
One Drive for Businessでファイルをクラウド上に同期保存



## Microsoft Teams

**オンライン会議** 1対1のチャット、グループチャット  
音声通話、ビデオ会議、画面共有  
ファイル共有、文書管理、在席情報



## Exchange Online

**メール、予定表、連絡先**を一元管理  
50GBのメールボックス  
様々なデバイス、ブラウザ、Outlookから利用可能  
情報漏洩抑止とメールの保持  
ポリシーによる送信監理と全メールの自動アーカイブ

# Office 365 利用イメージ



モバイル

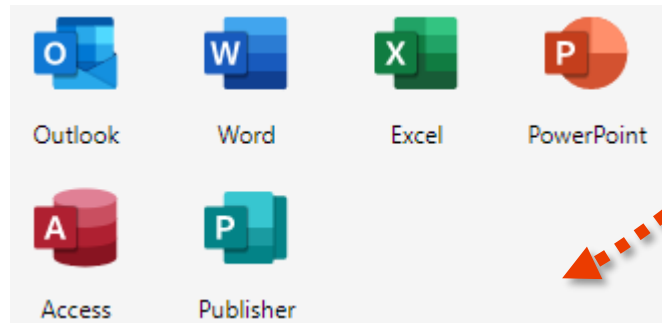


Web ブラウザー  
Office Online

- Excel
- PowerPoint
- Outlook
- Word



PC



**Office 365 ProPlus  
Business**

Exchange Online

SharePoint Online

Microsoft Teams

Azure Active Directory



ディレクトリ同期



Office 365 管理センター

# クラウドとして提供されるOffice ~Office 365 Business/ProPlus~



最新版  
Office利用

常に最新の Office をクラウドから提供

- ✓新旧 Office バージョンの共存を可能
- ✓ワンクリックで導入・展開開始

One Drive  
for Business

大容量1TBの**個人用Webストレージ**

- ✓PC上のフォルダと同期可能

マルチデバイス  
ユーザー単位

マルチデバイス時代のライセンス

- ✓**1 ユーザー最大15デバイスのライセンス提供**で、PC/Mac/スマホ/タブレット
- ✓最新の Office へのアップグレード権と  
利用に合わせた柔軟な支払

サブ  
スクリプション



Word



PowerPoint



Excel



Lync



OneNote



Outlook

# どこからでもよりスマートに ~Exchange Online~



Exchange Online

電子メール

予定表と  
連絡先

共有  
メールボックス

セキュリティと  
コンプライアンス

メール、予定表、連絡先を一元管理

- ✓ 50GBのメールボックス
- ✓ 様々なデバイス、ブラウザから利用可能
- ✓ メンバーの予定表も参照、会議のリクエストも可能

メールとファイルをメンバー全員で共有

- ✓ サイトメールボックスでファイルもメールも共有

情報漏洩抑止とメールの保持

- ✓ ポリシーによる送信監理と全メールの自動アーカイブ

# 統合ビジネスプラットフォーム ~SharePoint Online~



SharePoint Online

企業ポータル

ファイル共有

ソーシャル  
ネットワーク

One Drive  
for Business

社内外のメンバーとセキュアに情報共有

✓ファイル、重要なタスク、イベントなどの  
情報をWeb上で一元管理・共有

✓アクセス権設定により、セキュアに共有、  
横串検索も可能

✓ソーシャルネットワークの機能により、  
簡単に、素早く情報伝達

容量（1TB）の個人用Webストレージ

✓PC上のフォルダと同期可能

# チームワークを実現するハブ ~Teams~



チャット

プレゼンス  
(在席状況)

音声  
ビデオ通話

オンライン  
会議

在席状況を確認し即座に  
コミュニケーション

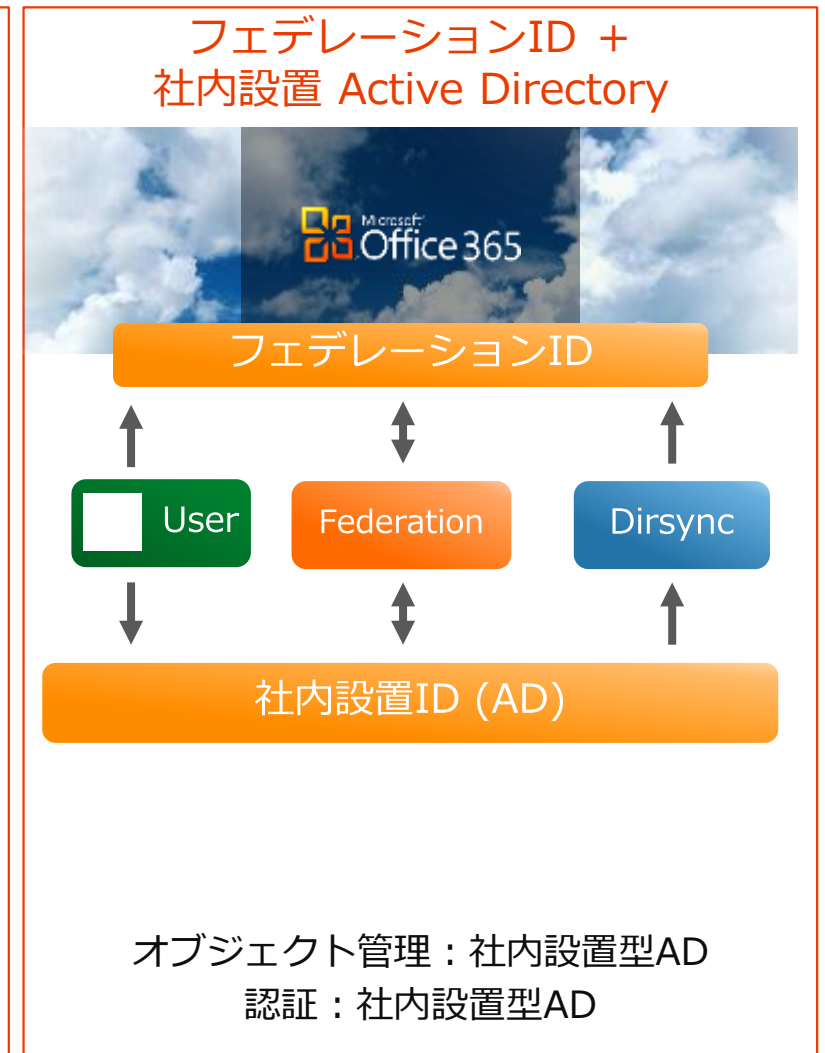
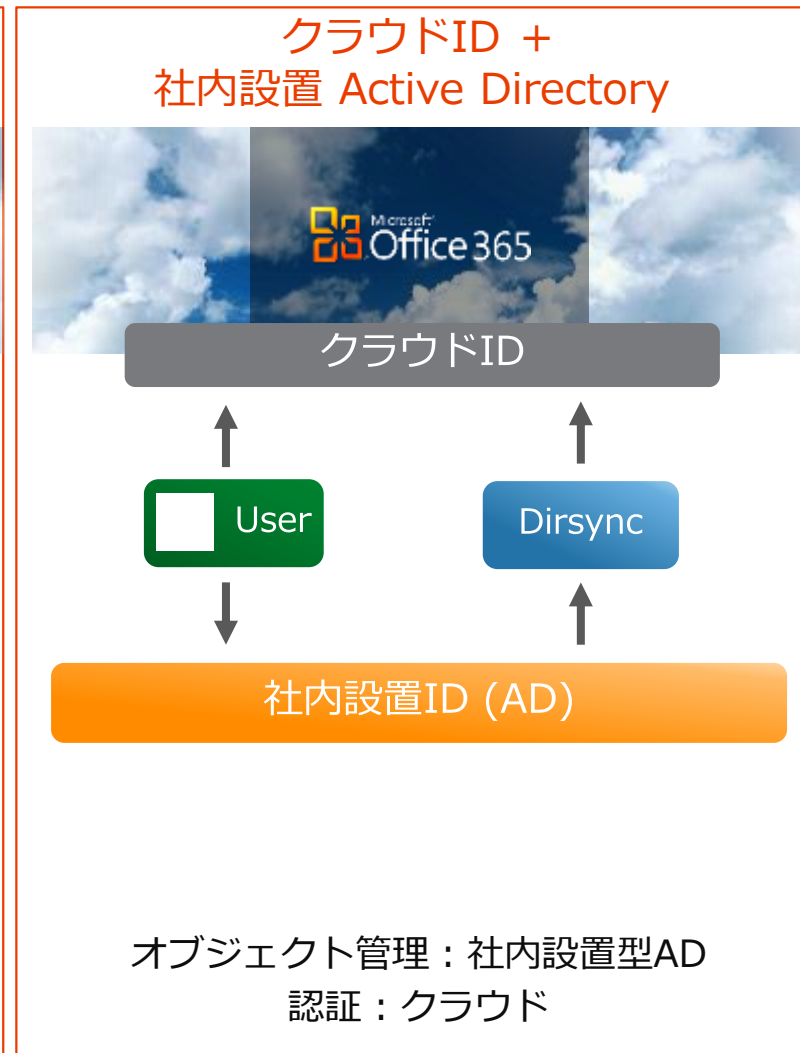
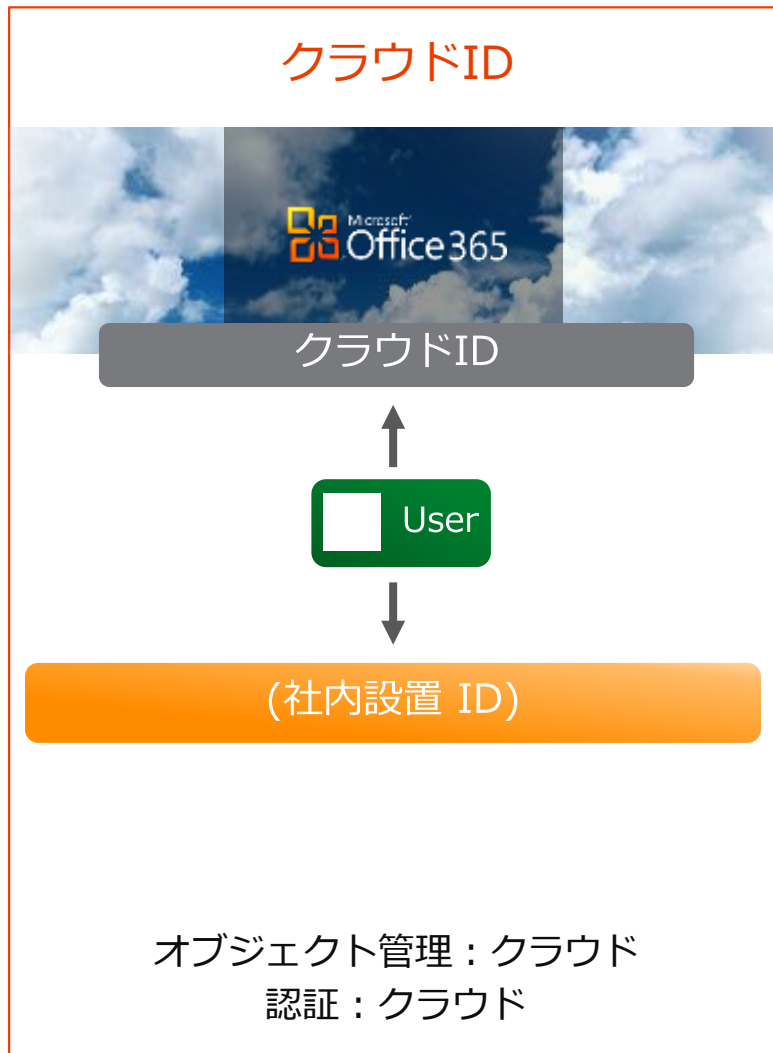
- ✓ Teams アプリケーションから相手の状況をどこからでも把握
- ✓ チャット、ファイル転送、画面共有可能

複数人と高画質ビデオ、音声通話

- ✓ ブラウザだけでも会議に参加可能
- ✓ ゲスト参加

Microsoft Teams

# ID 管理シナリオ





# Office 365 全体ラインナップ

・ Open License  
・ アドバイザー

2016年1月時点価格

## ■ おすすめのサービス

	Exchange Online Kiosk	Exchange Online プラン 1	Office 365 E1	Office 365 Business Essential	Office 365 Business	Office 365 Business Premium	Office 365 E3	Office 365 E4
1 ユーザーあたり	年額 2,640 円 (月額 220 円)	年額 5,280 円 (月額 440 円)	年額 10,440 円 (月額 870 円)	年額 6,480 円 (月額 540 円)	年額 10,800 円 (月額 900 円)	年額 16,320 円 (月額 1,360 円)	年額 26,160 円 (月額 2,180 円)	年額 28,680 円 (月額 2,390 円)
エンタープライズ ボイス								Lync Plus
Rights Management Services							RMS	RMS
データ損失防止、インプレース保持							Exchange Online プラン 2	Exchange Online プラン 2
Forms/Excel/Visio サービス、PowerView、PowerPivot、高度な検索、BCS							SharePoint Online プラン 2	SharePoint Online プラン 2
Officeアプリケーション					Office 365 Business	Office 365 Business	Office 365 ProPlus	Office 365 ProPlus
Office Web Apps			Office Online	Office Online	Office Online	Office Online	Office Online	Office Online
共同作業ポータル			SharePoint Online プラン 1	SharePoint Online プラン 1	OneDrive for Business	SharePoint Online プラン 1	SharePoint Online プラン 2	SharePoint Online プラン 2
エンタープライズ ソーシャル			Yammer Enterprise	Yammer Enterprise		Yammer Enterprise	Yammer Enterprise	Yammer Enterprise
在席情報 (プレゼンス)、オンライン会議、インスタントメッセージ			Skype for Business プラン 2	Skype for Business プラン 2		Skype for Business プラン 2	Skype for Business プラン 2	Skype for Business プラン 2
個人用アーカイブ、クライアント アクセス								
メール、予定、スパム/ウイルス対策	Exchange Online Kiosk	Exchange Online プラン 1	Exchange Online プラン 1	Exchange Online プラン 1		Exchange Online プラン 1	Exchange Online プラン 2	Exchange Online プラン 2

上限300ユーザー

## Office 365 ProPlus

▶ 年額 15,720 円 (月額 1,310 円)

## Exchange Online

▶ Kiosk : 年額 2,640 円 (月額 220 円)  
▶ プラン 1 : 年額 5,280 円 (月額 440 円)  
▶ プラン 2 : 年額 10,440 円 (月額 870 円)

## Exchange Online Archiving (EOA)

年額 3,960 円 (月額 330 円)

## SharePoint Online

▶ プラン 1 : 年額 6,480 円 (月額 540 円)  
▶ プラン 2 : 年額 10,440 円 (月額 870 円)

## Office 365 Extra File Storage

▶ 年額 264 円 (月額 22 円 / 1GB追加)

## Skype for Business

▶ プラン 1 : 年額 2,640 円 (月額 220 円)  
▶ プラン 2 : 年額 7,200 円 (月額 600 円)

## Azure Rights Management

▶ 年額 2,640 円 (月額 220 円)

## Project Pro for Office 365

▶ 年額 32,640 円 (月額 2,720 円)

## Project Online

▶ 年額 43,080 円 (月額 3,590 円)

## Visio Pro for Office 365

▶ 年額 16,920 円 (月額 1,410 円)

\* Office 365 M は 250 名までの組織のみご利用いただけます。また、サポート受付時間などの条件がほかのプランと異なります。

# 新しいワークスタイル

## ■ 様々な場所から会議や勉強会に参加

- ・ 朝、自宅から朝の定例会へ参加後、そのまま客先へ
- ・ アポイントの合間に社内勉強会へ参加
- ・ 多拠点の会議開催でも交通費はゼロ

## ■ 移動時間や空き時間の有効活用

携帯電話でメールチェック

- ・ どのデバイスからでも常に最新のステータスを保持
- 携帯電話でトレーニングビデオを閲覧

## ■ 顧客との打ち合わせには遠隔地の技術者がSkypeで同席

## ■ 必要なデータは常にクラウド上に

- ・ どのデバイスからも、常に最新の情報にアクセス
- ・ デバイス故障の際もデータが失われない

## ■ 日々の報告業務（日報）などのために事務所に帰る必要なし

## ■ 急な在宅勤務にも即座に対応

- ・ 家族の急病、電車の不通、災害、など

## ■ インターネット上の無料ツールなどの使用を制限

- ・ 無料ツールからの情報漏えい、情報紛失を管理



## 対応の問題

- ・ 迅速なメール対応
- ・ 柔軟なスケジュール設定

## 経費の問題

- ・ 交通費の大幅削減
- ・ 残業代削減
- ・ ハードウェアの管理削減

## 労務の問題

- ・ ワークライフバランス
- ・ 人材の有効活用
- ・ 優秀な人材の確保

## 安全の問題

- ・ BCP対策
- ・ シャドーIT対策
- ・ データ保全